



「しあわせのバケツ」をいっぱいにしてしよう！

11月の学校朝会では、「心かがやけ月間」や今週からの人権教育旬間にちなんで、「しあわせのバケツ」という絵本を使ってお話をしました。

「しあわせのバケツ」は、「誰もが心に持っている見えないバケツを、優しさと思いやりでいっぱいになると幸せになれる」という教えを伝える絵本です。人が喜ぶことをするとバケツがいっぱいになり、逆に嫌がらせをするとバケツが空になるという内容で、親切にすることで自分も周りも幸せになれることを説いています。

要約した絵本の読み聞かせになりましたが、みんな真剣に聞いてくれました。最後に、みんなに2つだけ問いました。

① あなたは、周りの人のバケツをしあわせでいっぱいにしてますか？

② 今、あなたのバケツはどのくらいしあわせが入っていますか？
時々、自分に問いかけてみて欲しいと思います。大人の私たちも、時々、自分に問いかけたいものですね。

今週から人権旬間です。学校全体で、みんながしあわせに、仲良くなるために、自分は何ができるかを考える機会にしたいと思います。

あなたは、^{周り}の人のバケツをしあわせでいっぱいにしてますか？



今、あなたのバケツはどのくらいしあわせが入っていますか？

朝のあいさつ運動にも取り組んでいます

「心かがやけ月間」の取り組みの一つとして、「あいさつ運動」に学年ごとに取り組んでいます。今週は、4～6年生です。気持ちの良い「おはようございます！」の音が響いていました。

挨拶をすることで、お互いに笑顔も生まれます。来週は、1～3年生です。校内に、地域に、元気な子どもたちの声が広がっています。



6年生



5年生



4年生

5年生、来年度の新1年生を引率！～就学時健診～

6日(木)は、午後から就学時健診でした。今年度も5年生が来年度入学の子どもたちを誘導して校内に設けられた健診箇所を回りました。優しく声をかける5年生の姿に、来年度のリーダーとなっていく姿と重なり、頼もしさを感じました。



次の健診に移動している様子